



2023年5月15日

各位

会社名 GFA株式会社

代表者名 代表取締役 片田 朋希

(スタンダード市場 コード番号: 8783)

問合せ先 執行役員 管理本部長 津田 由行
(TEL 03-6432-9140)

個別業績における営業外費用及び特別損失の計上、
個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社から連結子会社に対する貸付について、外部環境等も考慮し単体業績における営業外費用として計上するとともに、当社子会社における直近の業績を鑑み関係会社株式評価損を計上し、また2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社連結子会社に対する貸付についての営業外費用の計上

(1) 貸倒引当金繰入額の計上

当社から連結子会社に対する残存する貸付金について貸倒引当金繰入額として計上し、単体業績における営業外費用として276百万円を計上いたします。

2. 2023年3月期、当社単体業績における特別損失の計上

(1) 関係会社株式評価損の計上

当社子会社における直近の業績を鑑み関係会社株式評価損として、77百万円を計上いたします。

3. 連結業績への影響について

今回、1及び2に記載の営業外費用及び特別損失の計上による、2024年3月期連結業績についての影響はございません。

4. 2023年3月期(通期)個別業績と前期実績値との差異(2022年4月1日~2023年3月31日)

(単位:百万円、円・銭)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A)	286	△502	△561	△560	△28.31
当期実績値(B)	502	△1,568	△1,833	△2,167	△60.93
増減額(B-A)	216	△1,066	△1,272	△1,607	-
増減率(%)	75.5	-	-	-	-

※前期実績値の1株当たり当期純利益は、2022年3月期における期中平均株式数19,777,670株、当期

実績値の一株当たり当期純利益は、2023年3月期における期中平均株式数35,573,814株を用いて計算しております。

5. 差異の理由

不動産収益と事業融資による営業貸付金の利息が増加したことなどから、売上収入が増加しました。一方、営業利益については昨年のクレイモ事業の譲受に伴う店舗取得後の店舗スタッフ人員確保に伴う費用、賃料等の販管費が増加しました。

以 上